
潔癖的潔癖症

HOLY

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
潔癖的潔癖症

【コード】
N3820C

【作者名】
HOLY

【あらすじ】
自分に穢れを感じてしまった女性。何とかその穢れを取り除こうとするが、その方法は。

唐突に、何の前触れも無く、自分の穢れに気がついた。

いやだいやだ。こんな私がこんなに穢れてたなんて。いやだ。そんなの耐えられない。何とかしなくちゃ。何とか、何とか、何とかしてこの穢れを取り除いて清らかにならなくちゃ。

何とかしようと外に飛び出した。

どうしよう。こんなに穢れた私が外に出てしまった。だれにも見られたくないのに。私の穢れに気付いて欲しくないのに。早く清らかにならないと。

駅前のボランティア活動が目に入る。

そうだ、募金をすれば、そうすれば、良い事をすれば、清らかになれるんだ。よかった。穢れをなくせる。

箱に百円玉を入れる。

よかった。これで大丈夫だ。「ありがとうございます」だって。よかった。私は清らかになれたんだ。

ふと、別の人が千円札を募金箱に入れるのが目に入る。

ああ、そうだそうだ。何で私はたったの、百円しか募金しなかったんだろう。なんで持っているお金を全部出さなかったんだろう。

あああ、やっぱり私は穢れてるんだ。自分のために募金をケチるなんて。心が綺麗じゃない証拠なんだ。あああ、あああ。

箱に財布ごと入れる。

ふふ、いいことをした。私はいいいことをした。きっと清らかになれたんだ。ふふ、これで安心だ。・・・あれ、でも、でも、ちよつとまって、何で私はこんなことで満足しちゃったんだろう。私なんかより、財布ごと渡した私なんかより、ボランティアをしているこの人たちのほうがずっと、はるかに清らかじゃないか。お金をもらえる訳でもないのに、ただ他人のためにこうやって街に立って募金をお願いするこの人たちのほうがずっと、ずっと、清らかじゃないか。この人たちに比べたら、私はなんて穢れているんだろう。いやだ。こんなのがいやだ

募金活動を手伝わせてもらう。

うん。やっぱり、穢れがなくなっていった気がする。

さしいれにと、ハンバーガーをもらった。

うれしい。うれしい。やっぱりいいことをしたら、そのぶん自分にも帰ってくるんだ。うれしい。ハンバーガー、私、結構好きなの。・・・ハンバーガー？あああああ、何てことだろう。私は、牛の肉を食べてしまっている。牛を殺して、その肉を食べてしまっている。穢れてしまった。穢れてしまった。何てことだろう。生き物を殺して食べるなんて、穢れてしまった。

頭を抱える私を他の人は変な目で見ている。

そんな目で私を見ないで、見ないで。わかってる。そう、私は穢れている。わかってるから、そんな蔑むような目で私を見ないで。

自分の家まで逃げてきた。

ああああ、どうすればいいの？どうすれば？どうすれば、私の穢れはなくなるの？生き物を殺して食べたなら穢れちゃう。何も食べたらいけないんだ。でも、それじゃあ、きつと、私は死んでしまう。何も食べなかつたら、死んでしまう。そうか、分かった。そうだそうだ、・・・死ねばいいんだ。そうすれば、だれにも迷惑をかけなくて済むし、生き物を殺して食べるなんてこともしなくて済むんだ。簡単な話だ。なんで気がつかなかったんだらう。

ナイフで手首を少し切る。

どうしよう、どうしよう、血が出ちゃった。床が汚れちゃう。床を血で汚しちゃう。私の血で。床を汚すなんて、そんな悪いことをしたらやっぱり私は穢れてしまうんだ。ビニール袋か何か・・・だめだだめだだめなんだ。ビニール袋も私の血で汚しちゃだめだ。穢しちゃだめだ。汚したら、私が、穢れる。穢れる。穢れる。どうしよう、どうしよう、どうしよう。死ねない、死ねない、死んだら周りを穢しちゃう、そして私も穢れちゃう。でも生きてたらだめなんだ。生きてるだけで私は穢れちゃう。そうか、そうなんだ。私は、きつと、そう、存在しなきゃいけなかったんだ。存在したから穢れちゃったんだ。私の存在を消さなくちゃ。どうしよう。どうすれば、どうやったら私の存在を消せるかな。

しばらく考える。

そうだ、名案だ。これはすごい名案だ。なんだ簡単なことだった。

みんながいなくなつちやえばいいんだ。みんなが死んじやえばいいんだ。そして最後に私も死ねば、そうすれば、そうなれば、私の存在を意識できる人がいなくなれば、私の存在は消せるんだ。そうしたら、私は穢れなくてすむんだ。清らかになれるんだ。こんな穢れた私から、さよならできるんだ。そうと決まれば善は急げ、さっそくみんなを消して、私は清らかになろう。

そして、ナイフを持って、また、街に出る。

(後書き)

なんか勢いで書きちゃいました

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3820c/>

潔癖的潔癖症

2010年10月11日15時54分発行